

## Y. S. 社会システム学科・3年次

### I. 留学レポート

#### ① 協定留学を目指した理由

同女の1か月のイギリス語学研修プログラムの参加がきっかけです。私は中学1年生のときに、ほぼ「YES」しか言えない状態でイギリスに1週間語学研修に行き、ただホームシックになって帰ってきたという苦い経験がありました。そのリベンジのために大学1年生の時にイギリス語学研修プログラムに参加しました。しかし、1か月後に帰ってきてからも「またイギリスに戻り、もっと英語力を伸ばしたい。イギリス文化を理解したい」という気持ちが湧いてきてしまいました。とりあえず IELTS について知るために事前対策講座に参加しました。春留学応募締め切りの約4か月前で、IELTS は勉強したことがなく、とても間に合いそうにないと思いました。しかし、昔から短期集中型で物事に取り組んできたことや、昔から興味のある長期留学に挑戦すると思うとワクワクしたので協定留学に応募することに決めました。

#### ② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

とりあえず次の登校日に同女の生協の本屋さんで自分に合いそうな、模試付きの IELTS 対策本を購入しました。単語から学習するのは時間がなかったので、とにかく IELTS の形式や特徴、コツを知ること努めました。それらを知ったうえで付録の模試を一度解き、自分の苦手な問題は何か分析して試験日までは苦手なものを中心に対策しました。あとは、BBC ラジオや BBC 6 minutes English を聴く、TED を見る、NHK の午後7時からのニュース番組を英語吹替に変えて見る（結構おすすめです）ことを、毎日自分の性格上無理だったので気が向いたら取り組んでいました。

#### ③ 留学決定から出発までの準備期間

留学決定後は、アルバイトをして留学時の旅行費を貯めていました。Visa は6か月以内の滞在だったので不要でした。事前勉強は、勉強しなきゃ…と思いつつあまりしていなかったと思います。時々BBC ラジオのリスニングと BBC Learning English のオーバーラッピングをするくらいだった気がします…。（みなさんには、自分が専攻する科目の専門英単語だけでも学習しておくことをお勧めします。

#### ④ 現地到着後

私は入寮日の前日にヒースロー空港着だったので、空港付近のホテルに1泊しました。入寮日当日、ヒースロー空港まではホテルのバスを使って向かいました。（ホテルのバスが40分遅れで来ました。流石です！） Terminal5 に事前予約をした大学の送迎バスが来て、それに乗って Hub という受付に向かいました。自分の部屋のカードキーを貰ってから寮に行き、荷物を置いてから Welcome Party（と言えるのか分からない放置的な小さなパーティー

イ) に行ってピザを食べました。

## ⑤ 語学研修期間

### ◆ 語学研修先の施設・環境について

語学研修場所は大学内の教室でした。大学が夏休み中のため、キャンパス内は閑散としていました。そして PELP 生(語学留学生)の 90%以上が中国人だったので、日本人の間で「ここはロイヤルホロウェイ大学付属中国高等学校だ」と言って笑っていました。

### ◆ 授業内容、課題、試験

PELP1 から始まり、PELP2、PELP3 になるにつれて授業内容がよりアカデミックになり、Essay の文字数も増えていきました。最初の宿題は 140 字の Summary で、最終的には 1000 字の Essay を Critical Thinking しながら書きました。プレゼンテーションとリスニングテストも毎学期末に行われました。「テスト 40 点以下の生徒は？そう、“Go back to China”ですよ！」(赤点をとると Visa に影響して祖国に強制帰国になること)とよく先生から言われていましたが、実際はなんとかなると思います。気楽に挑みましょう。

## ⑥ 正規科目履修期間

### ◆ 大学の施設・環境について

正規授業になると、ちゃんとイギリスの大学に戻ります。ほとんどが現地の学生でアジア人の割合が一気に小さくなります。PELP 期間中には閉店していた学内ショップも通常営業を開始し、活気にあふれます。

### ◆ 履修科目

#### ◆ 授業、レポート、定期試験

日本出国の時期にちょうどイギリスの EU 離脱について話題になっていたのがイギリス政治について学習することにしました。その為、選んだ科目は以下の 3 つです。

#### ・ ES2001: Understanding the European Union

2 年生の授業です。EU の仕組みや特徴、問題点について詳しく理解していく内容です。課題は、履修生共通の essay (2500 字) で、なかなかきつかったです。また、Term1 留学生用の essay (1250 字)、EU 関係の記事に関するコメント 3 つ (各 50 字以上)という課題もありました。

#### ・ PR1500: Introduction to International Relations

1 年生の授業です。国際関係学の概論で、高校で世界史専攻だった人は好きだと思います。課題は履修生共通の essay (2000 字)と Term1 留学生用の essay (1000 字)でした。

#### ・ CE1701: Contemporary Britain: Government and Citizenship

留学生用の授業です。イギリス政治に特化した授業です。イギリスをもっと深く知りたい人におすすめです。課題は essay (1500 字)、Individual Presentation + Group short discussion、Writing Assessment (500 字、1 時間) でした。どれも政治専門用語が多く、

日本語でも理解しがたいため最初は四苦八苦しました。しかし、ある程度覚えたら少しずつ理解できるようになりました。

### ⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

テムズ川の水質検査、清掃をするワンデイボランティアに参加しました。学校付近のテムズ川は郊外なので水質はよく、ごみもほとんど落ちていませんでした。ソサエティは、最初、フラットメイトのイギリス人の友人と photography society を何回か見学しました。しかしあまりおもしろくなかったので入りませんでした。「日本に興味がある生徒が集まるソサエティに入れば、誰とでも話もしやすいかもしれない」「日本はアニメや漫画が世界的に有名だからもっと理解しておいた方がいいかもしれない」と思い、10 月半ばにアニメソサエティに参加しました。外国人目線で日本アニメと漫画の良さを理解できたことや、ソサエティで「君の名は。」を見に行ったこと、ソサエティの友人おすすめのアニメを見て次に会う時の話題にして盛り上がったこと、全てがいい思い出です。ボランティアやソサエティは現地の学生と触れ合い、友人を作る絶好の機会だと思います。Essay がなかなか進まなくて悶々としているときに、気晴らしとしていくのにも最適だと思います。ぜひ自分に合ったソサエティ、ボランティアを探してみてください。

### ⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

PELP・正規授業の寮は、キャンパス内にあり、他の寮よりもきれいで壁が厚いと言われる Wedderburn を選びました。希望通りどちらの寮も Wedderburn に決まりましたが、正規授業が変わる際、部屋は変わると言われました。引っ越しが面倒だと思い Student Service に同じ部屋に残り 3 か月間も住みたい、と伝えると案外すんなり受け入れてくれました。食事は主に Tesco というスーパーマーケットや、9 月から毎週火曜に開かれる学内のマーケットで材料を買い、自炊していました。シャワーの威力は良、部屋の広さも良、壁の厚さもほかの寮に比べやはり良でした。PELP 中に私の部屋のトイレが 3 回ほど壊れましたが、Hub に連絡して 2 日以内には直してくれました。

### ⑨ 長期休暇の過ごし方

長期休暇に中国の友人と海外旅行をしたかったのですが、中国は Visa の関係ですぐに海外旅行計画を立てるのが難しく、一人で海外旅行をしました。一人でまずアメリカに行き、MBC に留学している友人と会ってニューヨーク観光をしました。その後は一旦イギリスに戻り、またバルセロナとパリを一人で観光しました。どの旅行も自分でマネジメントするため常に緊張していました。しかし、MBC の友人 2 人とブロードウェイの Cats を見られたことや、ずっと見てみたかった本場のフラメンコを見たこと、世界史の教科書でよく見た芸術品をルーブル美術館で実際に見られたことなど、貴重な体験がたくさんできました。PELP 中の Bank holiday には日本人と上海人でレンタカーに(往路 12 時間、復路 8 時間…)乗ってスコットランドのハイランド地方に観光しました。今でも鮮明に見たものが思い返

せるほどの、美しく壮大な自然がハイランド地方には広がっていました。ウイスキーもおいしかったです。

## ⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

就職活動は、少しだけしました。とは言っても、ちょっとした自己分析や、試しに 1 つインターンに web 応募してみて就活の雰囲気味わう程度でした。また、日本人の Postgraduate student (大学院生)の友人がいたので、大学時代の就活の体験談や Web テストはどんなものなのかを教えてもらうこともありました。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

PELP 中はそれほど宿題や授業が負担ではないので、基本毎日楽しかったです。中でも、テスト終わりに朝まで打ち上げをしたこと、電車で自転車を乗せて Richmond でサイクリングをしたこと、頻繁にロンドンで買い物をしたこと、週末に Brighton に小旅行をしたこと、スコットランドに行ったこと、キッチンで会話をすることなど…。旅行、日常ともに 3 か月間充実していました。正規授業ではソサエティが 1 番楽しかったです。自ら “Otaku” と名乗るソサエティのメンバーたちは皆明るくて個性が強く、毎週自分の好きなアニメについて、じゃれあうように討論していました。どんな個性も受け入れられるこのソサエティは、日本人なのに日本アニメについて無知識な私も温かく受け入れてくれました。とても居心地がよかったです。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

正規授業からの寮生活が、2500 字の essay よりもつらかったです。1 フラット 8 人構成で、そのうちのイギリス人女の子 3 人がかなりのパーリーピーポーだったからです(笑)。新学期初めの 1 週間が一番悲惨でした。膨大な量のお酒をのみ、他の寮の男の子たちと一緒に共同キッチンで朝 5 時まで、爆音のパーティミュージックを添えて！パーティをしていました。最初の 1 週間だけなら…と思っていましたが、彼女たちは週 5 で同じようなパーティを朝 3 時までしていました。大量のお酒を飲んでいるので、毎回泥酔状態で、廊下で夜中に歌い始めることや喧嘩、大声での会話が普通でした。同じフラットの香港人の友人が懲りて、学校の Security Service に電話をし、係員がパーティをやめさせに来ることが何回もありました。Security Service もこれには異常だと考えたのか、11 月に私たちのフラット宛てに警告メールが送られました。それ以降は彼女たちのパーティが開かれることができなく、静かに眠ることができました。しかしそれまでは本当につらかったです。ちなみにこのような騒音がひどいフラットはごく稀だと思います。ほかのフラットや寮は、基本週末以外はあまりパーティをしていないと思うので、安心してください。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

PELP 中では、中国人の爆買い事情に驚きました。ブランド物の商品をサマーセール中に大量購入すること、日本の高級化粧品を日本価格よりも高額であっても気にせず大量に購入することなど…。世界経済は中国人という消費者に大きく支えられているのだと思いました。正規授業期間中では、セミナーで生徒一人一人が自分の意見を積極的に発表することがやはり日本とは違うと実感しました。

### Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

#### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、語学研修 (PELP) と留学先大学が連結していることです。アメリカやカナダは語学研修先を自分で探すと思いますが、ロイヤルホロウェイ大学の場合はその手間を省けられます。また、PELP の先生が正規授業の時にもサポートしてくれる点が魅力だと思います。また、なんととってもロンドンまで気軽に行けること、ヒースロー空港が近いが旅行や買い物においてとても便利でした。悪かった点は、スーパーマーケットや最寄り駅が徒歩で 20 分以上かかることです。自転車があれば楽です。私は、去年留学していた同女の先輩が置いていってくださった自転車を使用していました。

#### ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの (パソコン持参の有無も含めて)

パソコンは軽いノートパソコンを持っていきました。パソコンはできれば軽い方がいいと思います。日本製品の化粧品、スキンケアグッズも持っていくことをお勧めします。また、日本製品のムヒを持っていくと自然あふれる土地に旅行する際に役立つかもしれません。私はスコットランドで羽虫の軍団に襲われて手首足首、首が悲惨なことになりました。帰宅後にスーパーで購入した虫刺され用薬品は全く効かなかったのですが、友人から借りたムヒは効きました。

#### ③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

特にリスニング力が上がりました。留学前はあまり聞き取れなかった BBC ニュースや、洋画の会話がリラックスして聞けるようになりました。TOEIC のリスニングも、去年までは途中で体力が尽きて長い会話文が聞き取れなかったのが、先日受けた時には最後まで集中して聞き取ることができました。スピーキングは、ペラペラとはいえないですが、友人と交わす日常英会話程度は自然にできるようになりました。

#### ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

協定留学は給付型奨学金のサポートを受けられ、単位も修得できる魅力的な留学制度です。留学の動機は何でもいいと思います。英語が好き、昔から漠然と「海外留学」に興味があった、国際交流がしたいなど、ちょっとした理由でいいです。ですから、少しでも興味がある方は挑戦してください。例え辛いことが留学中に起きても、それは時間が経てばいい思い出に変わるかもしれないし、就活のネタにもなるかもしれません。

#### IV. 将来の目標

##### ① 今後の進路、将来の目標・夢

今後も英語の勉強を続け、またイギリスに行くことが夢です。英語学習を続け、もっと成長した姿でイギリス人の友人や中国人の友人と再会したいです。

#### V. 写真



中国人、スロバキア人、タイ人、日本人が集まって友人のバースデーパーティを開きました。



アニメソサエティの何気ないショット写真です。みんな明るくて一緒にいて楽しかったです。